平成23年度

南海地震フォーラム

日時　平成23年7月15日（金）
13:00～16:10

場所　須崎市立市民文化会館

主催　高知県立須崎高等学校

共催　須崎市
須崎市教育委員会

南海地震フォーラムの開催にあたって

高知県立須崎高等学校長　　秋森　学

このたび須崎市教育委員会との共催で、第２回南海地震フォーラムを開催する運びとなりましたことを大変嬉しく思います。また、基調講演をいただく国立高知工業高等専門学校准教授岡田将治氏、実践発表していただく須崎市地震・防災課の楠瀬晃氏をはじめ、関係諸氏の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、今回の南海地震フォーラムは、3月 11 日に発生した東日本大震災の大災害を教訓とし、新たな防災・減災について考える機会にするとともに、これまでの防災計画を見直すきっかけにしたいと考えています。この催しの企画運営には、生徒保健委員会や放送部等たくさんの生徒諸君が携わっており、地域における防災リーダーを育成する観点からもよい教育機会であると思います。

防災・減災教育につきましては、今後も本校の教育重点目標のひとつとして取組を継続していかなければならない課題であります。これらを須崎市とともに取り組むことで少しでも地域に貢献したいと考えています。

最後になりますが、今後も関係者の皆さまのご指導とご支援をお願い申し上げましてご挨拶とします。

「命を守るために」～次世代を担う私たちができること～

高知県立須崎高等学校生徒保健委員長　　大﨑理佐

3月 11 日におきた東日本大震災で発生した津波が町をのみ込む様子は、メディア等を通して日本全国の人々が目にしました。過去に津波の被害を受けてきた須崎市の地形と今回被災した東北沿岸の地形は類似しています。近い将来起こるとされる南海地震では、今回の地震で発生した津波による被害と同等もしくはそれ以上の被害が出ると考えられています。

私たち保健委員は、「命を守るために」というテーマで昨年度から本格的に活動を始めました。しかし、今回の震災の発生により活動の見直しを行いました。まず、6月には、新たな避難経路と避難場所を決めるために岡本地区自主防災組織の方の協力を得て、フィールドワークを行いました。今後行う地震津波避難誘導訓練において参考にし、訓練に活かすようにしたいと思っています。また、非常時に必要な保温シートや水、応急手当用品などを用意したいと考えています。保健委員会では、全校生徒一人ひとりが、命を守るために考えておくこと、どう行動すべきなのかを情報発信していきます。次世代を担う私たちがそれぞれの地域で貢献できるように、活動を続けていきたいと思います。

◆南海地震フォーラム次第◆

13:00～13:10　【開　　会】　須崎高等学校長挨拶
須崎高等学校生徒保健委員会挨拶

13:10～14:10　【基調講演】「東日本大震災からの教訓　～南海地震に備える防災・減災のヒント～」
●高知工業高等専門学校准教授　岡田将治氏

14:10～14:40　【実践的な取り組み発表】「須崎市における取り組み」
●須崎市地震・防災課係長　楠瀬晃氏

15:00～16:00　【パネルディスカッション】「変わる南海地震対策」
●高知工業高等専門学校准教授　岡田将治氏　●須崎市地震・防災課長　梅原康司氏
●高知県南海地震対策課長　北川尚氏　●高知県教育長　中澤卓史氏
●須崎高等学校生徒会長　●須崎高等学校生徒保健委員長

16:00～16:10　【閉　　会】　須崎高等学校生徒会執行部挨拶

須崎高校の防災・減災活動

① 救急法講習会

4月21日(木)

救急法事前学習会
（H23. 4. 15）
　全体の救急法講習会に向けて事前学習会を実施。保健委員、生活委員、生徒会執行部、教員が参加。

救急法講習会
（H23. 4. 21）
　最初に心肺蘇生法を保健委員が実施。その後各班に分かれて講習会実施。事前講習会を受けた委員たちが、各班で助言にあたった。

② 避難経路・避難場所検討フィールドワーク

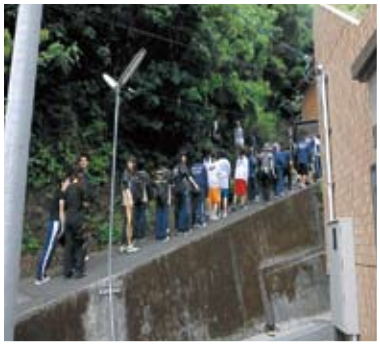
6月3日(金)

　生徒保健委員会は、岡本地区自主防災組織の方３名の先導の下、避難経路のフィールドワークを行った。当日は、部活動の生徒や放送部も加わって、50 数名の生徒が参加した。岡本地区には、地域住民が 300 人、地区へ働きに来る人、保育園から高校までが点在していることを考えると、地震発生時には最大で 800 人が一斉に動くことが想定される。そのための避難経路が十分か、また、複数の避難路が必要ではないか、検証した。

（生徒保健委員会主催）

■学校の北側から高台に上る経路

２～３分ほどで地上から 15 メートル付近まで上がることができるが、道幅が狭く、落ち葉などで滑りやすいため、登り始めから渋滞し、動きが止まってしまった。また、最初はスロープだが、すぐに階段になっている。その先は樹木が生い茂り、須崎市斎場までは登ることができなかった。大人数でも安全に避難でき、災害時要援護者も難なく上がれるように整備が必要である。



■新須崎トンネル経由の舗装路

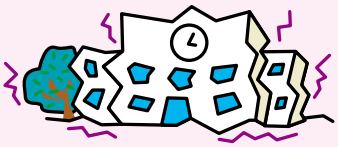
学校から歩いて、約 20 分後には、山の中腹まで行くことができる。登りきると、ヘリポート、須崎市斎場があり、斎場は避難場所となる可能性がある。ここは、駐車場や広場もありテントを張ることもできる。また、山づたいに歩いていけば、多ノ郷まで行くことができるため、孤立しない場所でもある。

地震発生時に道路の陥没やトンネルの崩落がなければ、使いたいルートである。しかし、方角的に海に向かって逃げる点、トンネルを抜けると、いったん海抜ゼロメートルまで下がる地点を通る点について、避難経路として使うのは不安であるという声も多数聞かれた。

③ 校内安全点検

6月7日(月)～17日(金)

須崎高校生徒保健委員会は、学期に１回のペースで校内安全点検を行っている。昨年度からは、地震発生時の際に倒壊する恐れのある物についても点検するようにしている。前年度指摘された本棚などは固定した。



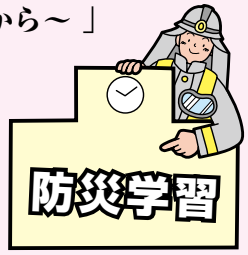
④ 防災学習

7月15日(金)

１年 ―― テーマ：**「東日本大震災から学んだこと ～緊急消防援助隊の活動から～ 」**
講　師：高幡消防組合須崎消防署

２年 ―― テーマ：**「災害に備える、ともに生きる」**
講　師：高知大学 防災すけっと隊　松尾 美佳さん

３年 ―― テーマ：**「災害ボランティアセンターについて学ぶ」**
講　師：高知県ボランティアＮＰＯセンター及び須崎市社会福祉協議会職員



⑤ 地震・津波避難誘導訓練

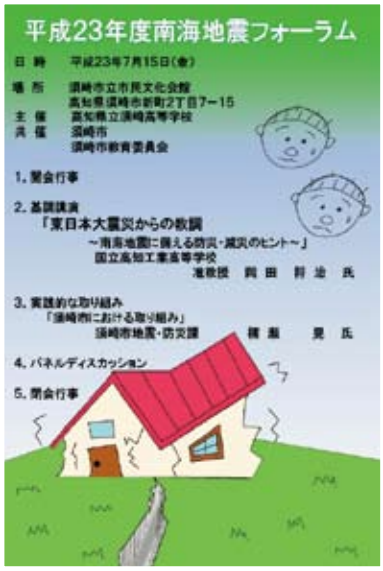
10月下旬

⑥ 南海地震フォーラムポスターの制作

商業系列情報コース３年生は、昨年度から継続してＣＧ（コンピュータ・グラフィック）の実習に取り組んでいる。今年も「南海地震フォーラム」の実施にともない、ポスターの制作を行うこととなった。

制作時間が限られており、短時間で完成させるのに生徒は苦労したようだが、今年は特に地震・津波に対する意識が高く、ひとりひとり個性的で良い作品ができている。

３月 11 日に起きた「東日本大震災」。生徒たちも真剣に地震・津波について考え、今後起きるであろう「南海地震」で、どのように行動すればよいのかを学んでほしい。　　（商業科教諭　　須藤　真一郎）



3-2　吉岡瑞希

3-2　谷口大心

3-2　市原大世

表紙ポスター　3-2　結城杏梨